

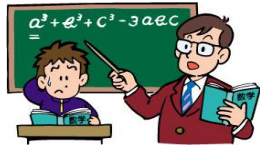
長谷山だより

令和元年6月10日発行
 碓井中学校通信 6月号
 文責 校長 藤井 隆昭

今度は、学習に集中しよう！

一学期最大の行事、体育会が無事に終わりました。三年生を中心に、今出せる精一杯の力を出し切った、素晴らしい体育会でした。

さて、今週の水曜日(12日)から期末考査が始まります。体育会で頑張ったエネルギーを今度は勉強に注いでほしいものです。3年生にとっては、これからの一つひとつの試験の結果が、進路選択の貴重な資料になっていきます。間違えたり、わからなかったりした内容を考査後のフォローアップタイム等を活用して、確実に理解するようにしていってほしいと思います。1年生は、初めての定期考査です。小学校での各学期のまとめテストのようなものですが、試験範囲も広いので、計画的に試験勉強を進めることが大切です。各学級で指導していますが、初めての経験ですので、ちょっと様子を見ていただけたらと思います。



6月中旬、梅雨入りも間近となり、蒸し暑い日が続いています。ほとんどの生徒は、集中して学習を進めています。毎時間の授業をしっかりと聞き、ノートをきちんと整理する等が、成績を上げる秘訣です。

6月・7月の主な行事予定

日・曜	行 事	日・曜	行 事
6月12日(水)	期末考査第1日	7月1日(月)	漢字コンクール開始
13日(木)	期末考査第2日	4日(木)	職員会議
14日(金)	期末考査第3日・部活動再開	6日(土)	中体連大会(バスケット)
17日(月)	フォローアップタイム① 学活⑥(修正案審議)	7日(日)	中体連大会(サッカー) 市人権の集い講演会
18日(火)	県学力実態調査(1,2年) フォローアップタイム②	8日(月)	薬物乱用防止教室(1,2年) 生徒会専門委員会
19日(水)	フォローアップタイム③	10日~12日	保護者個人懇談会(全学年)
20日(木)	フォローアップタイム④	13日(土)	中体連大会(バレー男女)
21日(金)	生徒総会⑤⑥ 2年生保護者会 フォローアップタイム⑤	14日(日)	中体連大会(バレー男女)
		18日(木)	5時間授業・給食最終日
23日(日)	市P連スポーツ大会	19日(金)	第1学期終業式
29日(土)	中体連大会(野球)	20日~23日	中体連筑豊大会
30日(日)	[諸活動連絡] ○部活動 ⇒完全下校19時 ○土曜未来塾⇒毎週実施 13:30~人権啓発センター	23日(火)	地藏祭り補導(予定)
		24日(水)	地藏祭り補導(予定)
		26日~31日	中体連県大会
		28日(日)	科学の甲子園筑豊大会



第73回体育会 無事終了！ ご協力ありがとうございました。

本年度の第73回体育会、無事に終わることができました。朝早くから、昼食準備・送迎、終了後の後片付けやゴミ拾い等、ご協力いただき、本当にありがとうございました。生徒たちの演技はいかがだったでしょうか？

残り1週間になってから、各学級、朝練やブロック練習等、徐々に気合いが入り、演技も日に日に素晴らしくなっていました。そして、そのピークが体育会当日だったように思います。どの生徒も力を抜くことなく、一所懸命に走り、助け合う姿は、大きな感動を与えてくれました。勝負事なので、勝ち負けはつきましたが、ほんの紙一重の差で、どちらが勝ってもおかしくなかったと思います。

この集中力と団結力、そして仲間を大切にする優しい心を、これからの学校生活に生かしてほしいと思います。ご協力ありがとうございました。



保護者の声を学校全体に(全職員での共通理解)

私たち碓井中学校の教職員は、一人ひとりの生徒たちにきめ細かな指導・関わりを持つために、毎日、入念な打合わせを行っています。

【三役会議】 7:20~7:40・校長室

教頭先生・教務主任、三人で一日の動き、生徒の様子

保護者からのご意見等を集約し、職員全体への連絡内容を確認しています。

【職員朝礼】 8:25~8:30・職員室

教務主任から一日の行事について、教頭先生から重要事項を含めての全体確認、各学年・学級担任より、生徒状況等についての確認を行っています。生徒の様子を朝の段階で全職員で知る機会としております。

【学年会議】 職員室

職員朝礼を受けて、学年内でさらに入念な打ち合わせをしています。

*緊急事案・課題事案については、生徒指導委員会、企画運営委員会等で確認検討しています。



◎今後とも学校へのご意見・ご要望等、どうぞお寄せください。
 とはいうものの、次のようなワンクッションも大事に思います。

見ないふりをして、しっかり見る！

「中学生になって、学校のことを話さなくなった。」「すぐに口答えをするようになった。」は、中学生の保護者から、よく聞かれます。これは、思春期の子どもの特徴で、子どもたちが自立していく上で、大切な時期です。心配して、聞き出そうとしたり、〇〇しなさいと言ったりすると、反発をされることがよくあります。昔、金八先生が、「『親』という字は、木の上に立って(子どもを)見ると書く。だから『親』なんだ。」と言いました。まさに、思春期の子どもたちへの親の接し方だと思えます。

子どもは、自立に向けて、親から離れていきますが、話したくなった時には、話してきます。その時に、聞いてあげることが大切です。大人に頼らず、自分で解決していきたいのが、この時期の特徴なので、すぐに手を貸さず、どうしてほしいか尋ね、自己決定させることです。子どもの様子を見守ってあげる、そのワンクッションもお願いします。